

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【公開番号】特開2012-192699(P2012-192699A)

【公開日】平成24年10月11日(2012.10.11)

【年通号数】公開・登録公報2012-041

【出願番号】特願2011-59979(P2011-59979)

【国際特許分類】

B 4 1 J 11/70 (2006.01)

B 2 6 D 5/08 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 11/70

B 2 6 D 5/08 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月27日(2014.2.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

上記した課題を解決するために、本発明では、ワンウェイクラッチおよび可動刃駆動機構を介して可動刃に駆動力を伝達する駆動力伝達系の中の所定箇所に、ワンウェイクラッチの内部に配置されたトーションバネが緩む方向へワンウェイクラッチの第1ギヤを回転させたときに第2ギヤに対して回転抑制負荷を与える負荷機構を設けている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

一方、カッター系ワンウェイクラッチ105から可動刃駆動ギヤ106に駆動力が伝えられると、ウォームホイール13が矢印Aの方向に1回転し、可動刃14がホームポジションとカットポジションとの間を1往復する。このとき、搬送系ワンウェイクラッチ103の第2ギヤ<sub>103b</sub>が空転してローラ駆動ギヤ104には駆動力が伝えられず、記録紙を搬送するためのプラテンローラ(図示せず)は回転しない。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図2】

## 本実施形態によるカッターユニットの内部構成例

